



小野選手『右文尚武』を

同窓会長 村岡 兼幸

春は、暁。やうやう白くなりゆく、  
山際すこし明りて、紫立ちたる雲の  
細くたなびきたる。

夏は、夜。月のころはさらなり、闇もなほ、螢の多く飛び進いたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうらぎりて行くも、をかし。雨など降るもの、をかし。

秋は、夕暮れ。夕日のさして、山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとて、三つ四つ二つなど、飛び急ぐきへ、あはれなり。

冬は、早朝。雪の降りたるは、言つ

（清少納言「枕草子」）の第一段より  
この古典の名文のように、故郷の自然  
や季節の移り変わりを、当たり前のよ  
うに享受できる日常が、一日も早く戻  
ることを祈るばかりであります。

さて、前置きが長くなりましたが、  
本荘高校同窓会会員の皆様におかれま  
しては、日頃より同窓会ならびに母校  
に対し、ご支援・ご協力を賜り誠にあ  
りがとうございます。本年度になつて

出場されたことがあります。本高出身として、二人目のオリンピアンの誕生であります。一人目は、第55期の伊藤次男先生（ボート競技）でありますから、49期後輩にあたり、ほぼ半世紀ぶりという快挙であり、母校にとつての名誉と誇りであります。

私は同窓会長として、「同窓の小野選手を応援しよう！」と2019年度の本部そして7支部の全ての総会において、募金箱を持って行き、カンパを

も、コロナ禍は収まるどころか、緊急事態宣言が何度も出されるなど、医療崩壊とも云える危機的状況が続いているが中止となりました。誠に残念ではありますが、やむを得ないことだと思いまます。

第一段は、古来、名文として名高い  
その名文たる所以はどこにあるのかが  
一言で言うならば、それは絶え間ない  
変化であり、際立つ対比であろう。  
文の構造は、春夏秋冬の四段に分かれて  
いる。「春の曙」と「秋の夕暮れ」は和歌の  
歌の伝統であり、「夏の夜」と「冬の  
早朝」は、それまで顧みられなかつた  
新しさである。各段の冒頭の一文は体  
言止めで統一される。

が、そんな時に、小野選手からは、「母校の熱烈な応援が、本当に心の支えになりました。」と言つていただきました。

オリリンピックにおいて、残念ながら入賞はできませんでしたが、日本代表選手として、世界と正々堂々と闘つたオリンピックの夢舞台での勇姿は、母校の校標「右文尚武」をまさに体現してくれました。今後は、その経験を生かし益々のご活躍をお祈り申し上げます。

募りました。大変有難いことに、全国の同窓の皆様から、「頑張っている後輩のためならば」と、ご快諾をいただき本当に多くのご寄付を賜りましたことにより、心から厚く厚く感謝申し上げます。

小野選手は、オリンピック開催が一年延びましたので、代表に決まるまでの長い間、精神的なプレッシャーとの闘い、出場決定後は、コロナ禍での宿練習・体調管理など、そのご苦労は想像を絶するものがあったと思ひます。

だ一つ二つ」と「三つの四つ二つ」、「山際」と「山の端」など。この第一段は約四百字にすぎない。その中に、これだけの変化と対比が織り込まれている。さらに全体に貫した動機がある。「光」と「色」である。……中略。

りませんか！　まさに、関心・興味が無ければ、「見てるのに、何も見えない」ことが、今更ながら実体験として分かりました。

然しながら、急に草花や古典に興味をもつようになつたのではありますまい。早朝の散歩、そして還暦からはお茶の稽古を始め、野に咲く花にも興味をもつよくなり、さらに今年から俳句の勉強をすると、季語という貴重な「言葉の宝（歳時記）」があることに気が付き、そんな世界に一歩でも近付きたいと思う自分がいて、「枕草子」の名文が心に響くようになつたのだと思ひます。

が日課となりました。雨の日も雪の日も必ず散歩。季節の移り変わりを肌で感じながらの散歩であります。今年のお盆に、桜づみで咲いている大きな紅紫色の花に目が吸い寄せられました。これまでに見たことのない可憐な花びらです。草花図鑑を調べましたが分かりません。本高先輩の花屋さんに行き、写真をみせて尋ねたら「この特徴的な花弁はサルスベリですね。」と。サルスベリ(別名「百日紅」夏の季語)と云う樹木の名前は知っていましたが、どんな花を咲かせるかまでは全く知りませんでした。

それが分かると、実は、私の毎朝の散歩道であるアクアパルへのアプローチの街路樹もサルスベリだったのです。さらに、もつと驚いたのは、自宅の庭にも樹高7mの大きなサルスベリが、可憐な花を見事に咲かせているではあ

緑色は来年母校は創立120周年の大きな節目を迎えます。本高校歌のリフレイン『右文尚武いそしみて起て鶴城の健男子』のごとく、在校生にとつても、同窓生にとつても、今一度、母校創立の原点に立つような、そして新たな一步を踏み出せるような式典・記念事業にするべく準備を進めております。同窓会会員の皆様には、ご支援・ご協力のほどをお願い申し上げまして、挨拶いたします。



## 「はじまり」を訪ねて

校長 熊澤耕生

同窓会会員の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申しあげます。また日頃より本校の教育活動に対し多くの御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

縁あってこの四月より本校に着任いたしましたが、本校勤務は今回が二回目です。前回は平成十三年四月から七年間の勤務でした。本校への異動を機に本荘に移り住んでから、早いもので二十年が経過しました。

さて、今年度の玲瓏祭の開催にあたりプログラムの挨拶文を依頼され、そもそも玲瓏祭の「はじまり」はどんなものだったのか興味を持ち「本荘高校八十年史」に目を通してみました。それによると、本校初の文化祭は、戦後の学制改革で「本荘高等学園」が誕生した昭和二十三年に開催されました。終戦から三年、平和国家・文化国家としての再生を図る日本全体の流れも文化

祭開催の一因だったそうです。

「現代学生の智と情熱で築いた豪華版」と銘打った文化祭の様子の中で特に心引かれたのは、本番前夜の生徒達の熱気が伝わってくる次の一文でした。「秋の夜更け、肌寒いと思つたらもう二時だった。ガランとした講堂では一年の演劇の稽古が又初めからやり直しである。」

これがきっかけで、本校の様々な「はじまり」の様子を知りたくて今年の夏季休業中に「百年史」の読破に挑戦したのですが、「秋の夜更け」の一節は載っていました。「八十年史」自体が千ページ近いものなので、その内容をすべて「百年史」に取り込むのは不可能だったので、年史に取り組むのでした。

さて、今年度は9名の新入生が加わり昨年度並みの生徒数を維持することができました。学校行事は、感染症に十分配慮しながら、生徒から様々なアイデアを出してもらながら、可能な限り中止等をすることなく実施し

**定時制課程 教頭 橋義憲**

この状況下でも、進学者20名（国公立管外4年制94名・私立4年制66名・短大18名・専修学校28名）、就職者18名（うち公務員11名）と卒業生は健闘しました。



## 学びの機会

令和3年度卒業生237名の進路状況を報告いたします。

昨年は大学入学共通テスト初年度でした。推薦制度も学校推薦型選抜・総合型選抜に変更され、出願時期が遅くなりましたが、コロナ禍で民間就職試験は一ヶ月延期、共通テスト第二日程が突然組まれるなど、多事多難な年でした。

## 進路指導部より

コロナ禍は今なお続き、オンラインバスや進路行事がオンラインになつたり中止されています。しかし、今年も生徒は「志」を胸に、コロナ禍に負けず「右文尚武」に励んでいます。

進路指導部 太田和佳子



# 支部だより

## 秋田支部

コロナ感染症に社会全体が揺らぎ、翻弄されて既に2年近くになります。日々の生活や様々な活動は制限され、あの普段の暮らしを遠きものと感じることも多々あるのが現状です。

しかしながら過去の歴史を見て、そうした大きな災害やでき事から必死に立ち上がってきたのもまた事実です。

如何にして日々の暮らしを取り戻し、また新たな「日常」をつくりあげるかは、大きな社会システムの転換とともに、そこに住み暮らす個々人の意識改革もまさに重要なポイントになるものと思います。

さて、こうした中で本荘高校の同窓会活動も例に漏れず、活動そのものが制限されてきているとともに会員の意識や連帯感の薄れも懸念されます。言葉では、「こういう時だからこそ連携して次のステップの土台づくりを」と言いながら、必ずしもそうした活動に至っていない現状に歯痒さを感じております。

我慢の時は、今しばらく続きそうお喜び申し上げます。

拝啓 時下ますますご清栄のこと

○令和3年度・第48回同窓会庄内支部総会中止のお知らせ

な感じですが、会員への広報活動などを通じて、相互連携の方策を探つていきたいと思います。

同窓会本部のみならず、各支部におかれましても、活発な活動が再開されることをご祈念申しあげますとともに、当支部へのご協力をお願ひし、ご挨拶とさせていただきます。

秋田支部長 湯元 嶽

## 庄内支部

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申上げます。また、日頃は会の運営に本部役員、事務局のご協力ご支援に感謝申し上げます。

同窓会報「玲瓈同氣 第46号」の「支部だより」を依頼されましたが、特別ご連絡する特徴的な企画も無く誠に申し訳ございません。

3月早々新型コロナウイルス感染症拡大によつて、支部総会中止のご連絡を各会員へさせていただきました。その内容を記載させていただきますので宜しくお願い致します。

○令和3年度・第48回同窓会庄内支部総会中止のお知らせ

ておりました支部総会ですが、昨年に続き、昨今のコロナ感染症状況を考慮いたしまして、役員理事会に於いて、会員皆様の健康、安全面を第一に熟慮し検討を重ねて参りました。誠に残念でございますが、結論いたしまして開催を中止させていたしました。

追伸

敬具

第44回 同窓会庄内支部懇親会恒例の「応援歌」を酔い心も忘れ、声高らかに歌いあげている姿です。コロナ禍で2年連続開催できなく、久しぶりに記録写真を拝見し懐かしく思いました。

事務局 鷹島 武(56期)

## 仙台支部

いつもながら、村岡同窓会長の歴史に対する造詣の深さには感服しております。「玲瓈同氣」(第45号)での「戦国時代・幕末・明治と続いたヨーロッパ・アメリカ列強国のキリスト教布教」に絡んだアジア進出のお話を興味深く読みました。

私も専門外ながら、最近、近世思想史にかぶれております。幕末から

明治の「列強」の日本への外交スタンスの主軸は「宗教」であつたと勉強しました。宮城県に住み始めてから六十年近くますが、県民として、東北人として感じることは、やはり大きな「災害・被害」が大波のように繰り返されて、その影響は現在に及んでいる。戊辰戦争・太平洋戦争・東日本大震災と時間を縮めてかります。特に「戊辰戦争」前後に利害関係で色々な錯綜はあるものの、個別的には東北のなかでも、あ

るいは過つての敵同士でも信頼関係を築き上げた多くの先人がいたことが、私の勉強の支えになつております。

さて、仙台同窓会は今年も「コロナ災害」に翻弄されました。会員の皆様には大変申し訳ありません。「総会は中止」と致しました。来年度は時期を見極めて必ずや実施したいと思つておりますのでご期待ください。また、仙台支部の会員になられる方を心から歓迎しておりますので連絡先を記しておきますので宜しくお願いします。(支部長連絡先・電話(090-2793-1574)メール(haya-kawa@heart.ocn.ne.jp))

仙台支部長 早川哲郎(60期)

本來であれば第35回目の総会を迎える筈の年であつたが依然としてコロナウイルスの猛威は衰えず、昨年に引き続き開催を見送ることになつたことは誠に残念でならない。

## 関西支部

故に、硬式野球部関西遠征歓迎会や納涼会等々全ての支部活動を中止にせざるを得なかつたため、報告すべきことは特にはないのが実状である。

困り果てている中、何かしらネタはないものかと同窓会の関連資料を探つていると、平成29年9月30日発



刊の同窓会報「右文尚武・玲瓏同氣」縮刷版を書棚より見つけた。

特に興味を惹いた関西支部の発足に係る記事を中心にページを捲つてみた。すると、昭和60年9月7日付会報10号に織田忠雄氏(50期)が寄稿文の中で、近畿同窓会設立に向けて現在準備中であることを告知している。

続いて会報12号に、関西支部がいよいよ発足するにあたり昭和62年10月18日に設立総会実施を呼びかける記事が載っている。そして同13号の会務報告の中で、大阪・大野屋迎賓閣に於いて関西支部設立総会が実施されたとあり、その総会には、本部より伊藤恒同窓会長(47期)他多数の方が出席された旨報告されている。

以上、関西支部発足当初の記事を同誌より振り返ってみたが、あらためて発足準備に尽力された50期の織田忠雄氏、畠山圭司氏、猪俣勉氏、遠藤邦彦氏、佐藤(金)氏、53期の須藤淳氏、57期の伊藤芳和氏(以上、織田氏寄稿文より引用)に心より敬意と感謝を申し上げる次第である。

支部長 工藤 皇(66期)

各種親睦行事、会報誌の発行、10月予定の第55回総会・講演会並びに懇親会を中止としました。

総会開催予定の会場にキャンセルの連絡をしたときに担当者に聞いたところによると、今年は数件の同窓会等が開催されたようです。懇親会については、各テーブルはアクリル板で仕切り、ビール等の飲み物は各自手酌で行い、大きな声は出さずに静かに行つたようです。個人的には、そうまでして懇親会を行つて必要があるのか疑問ですが、来年以降の総会講演会並びに懇親会の進め方については、新型コロナウイルス感染の収束状況、ワクチンの接種状況、治療薬の開発などにより従前どおりの進め方ができるのかどうかの判断をすることになるかと思います。

当会は2年前の総会で支部(東京同窓会)独自の年会費三千円から賛助金1口(千円以上)としました。このことは、60代以上の首都圏在住の卒業生(会員)の方々には変わらず協力・支援をお願いし、これまでに一度も同窓会活動に参加していない50代以下の会員の方々には同窓会活動に興味を持つてもらい、自発的な協力・支援をお願いすることを目的としています。同窓会活動の継続(後輩への継続)が重要と考えていますので、特に50代以下の会員の方々にも同窓会活動に参加していただき、同窓会活動の活性化を図つてください。

本年の活動は、昨年同様新型コロナウイルス感染拡大の影響により役員会・総会開催のための実行委員会、

いきたいと思っています。

東京同窓会事務局長 湯田友夫(65期)

東京同窓会ホームページ [www.honjokotokyo.org/](http://www.honjokotokyo.org/)

味の食事、老後の生き甲斐にもつながった。貴重な財産でもあったがコロナ禍によって断ち切られた。このままでは支部の崩壊にもつながりかねない危機感すら覚える。ともかく一日も早くコロナ禍が終息し、月例会の再開によって会員の信頼と絆を

す。

北海道支部長 梅津 真(64期)

初代支部長 小畠正八(44期)がつた。貴重な財産でもあったがコロナ禍によって断ち切られた。このままでは支部の崩壊にもつながりかねない危機感すら覚える。ともかく一日も早くコロナ禍が終息し、月例会の再開によって会員の信頼と絆を

再び蘇えさせる事を請い願うばかりだ。

北海道支部長 梅津 真(64期)

北海道支部長 梅津 真(64期)がつた。貴重な財産でもあったがコロナ禍によって断ち切られた。このままでは支部の崩壊にもつながりかねない危機感すら覚える。ともかく一日も早くコロナ禍が終息し、月例会の再開によって会員の信頼と絆を

再び蘇えさせる事を請い願うばかりだ。

北海道支部長 梅津 真(64期)

## 北海道支部

### 卒寿を迎えて

「ヤッタ!」令和3年3月、人生

100年時代の幕開けに大きな壁である90歳をクリアしたのだ。人生50年時代を生きてきた人間にとってはまさに奇跡だ。戦前戦中の軍国主義に翻弄された少年期、戦後は目覚ましい経済成長を支え昼夜を分かたず頑張ってきた青壯年期、定年後は第二の職場での想像を絶するバブル景気を体験した。そして最大の趣味だ

令和2年

仙台支部総会 中止

第113回総会 中止

当番幹事引き継ぎ会

於・本荘グランドホ

テル 5相当期から

6相当期へ

関西支部総会 中止

東京同窓会総会 中止

・副会長・各委員長

・事務局

10月22日(木)

5月27日(木)

創立百二十周年記念

事業 常任委員会①

於・本荘高校 会長

・副会長・各委員長

・事務局

階で未定

庄内支部総会 中止

北海道支部総会 現

段階で中止予定

・副会長・各委員長

・事務局

令和3年

講演会 中止

同窓会PTA合同新

年祝賀会 中止

同窓会入会式 於・

本荘高校 村岡会長

・渡部副会長・菊地

副会長・齋藤副会長

卒業証書授与式 於・

本荘高校 出席

なし

4月6日(火)

第119期生入学式 於・本荘高校 出席

なし

秋田支部総会 現段

7月30日(金)

創立百二十周年記念

事業 実行委員会①

於・安楽温泉 会長

・副会長・各委員長

・事務局

階で未定

5月27日(金)

創立百二十周年記念

事業 常任委員会①

於・安楽温泉 会長

・副会長・各委員長

・事務局

階で未定

令和2年度

会務報告

庄内支部総会 中止

北海道支部総会 現

段階で中止予定

・副会長・各委員長

・事務局

階で未定

会務報告

北海道支

部長 梅津 真(64期)

がつた。貴重な財産でもあったがコロナ禍によって断ち切られた。このままでは支部の崩壊にもつながりかねない危機感すら覚える。ともかく一日も早くコロナ禍が終息し、月例会の再開によって会員の信頼と絆を

す。

北海道支

部長 梅津 真(64期)





りなかなか自指す人がいない時代。くも膜下出血の治療は開頭手術がほとんどであり、「血管内治療なんかやらないでいいから開頭手術をもっと練習しろ」とよく言われてきました。医局派遣先の福島の病院にいたときはこつそり国立水戸病院や南東北病院などへ練習に行つたのですが学問の違いからイヤな思いも経験。大学医局に戻つた後は再び開頭手術のみをおこなつていましたが時代の趨勢が代わり、血管内治療と開頭手術の治療比率は互角に。まさか自分がどちらの治療もおこなう「二刀流」になりました。結局、患者さんからすると頭を切らないですむ治療を希望されるのは当然の流れだったのであります。その後の18年は「二刀流」の脳神経外科医として歩んできました。このたび青森県弘前市で脳神経外科クリニックを開業いたしました。長い人生、遠回りのようでもその後の自分の糧になることが多いと感じるようになつた今日この頃。遠方の地からではあります。が本荘高校と同窓生の皆様のご発展とご健勝をお祈り申上げます。

## 右文尚武いそしみて



96期

田口 有樹

誰もいない桜坂を自転車で駆け上がった高校時代。バスケット部に所属し、今も声を掛け合える「かけがえのない」仲間と出会いました。進学で上京し、その後地元に戻り本荘市役所に就職。本荘高校の先輩方に仕事を教わり、今では多くの後輩達と市政の一端を担つております。



106期

佐々木 源

卒業後も続けてきたバスケットは、本荘高校バスケット部のOBが年代を超えて集まり、共に汗を流す仲間となりました。またバスケットが縁となり、外部コーチとして本荘高校に戻ることに。一度目の本高生活を楽しんでいます。久しぶりに訪れた学校は年季が入り、根拠のない自身だけを胸に、いざ入部すると、主に由利地区の猛者が試合に出られるのは当分先だ」と感じました。しかし当分先どころか、2年秋になつても全然試合に出ることができません。一方、同級生や後輩達はどんどん上達してきます。焦つて必死で練習しますが、焦れば焦るほど空回り

## 高校野球の思い出



106期

佐々木 源

私が中学2年生の時、本荘高校硬式野球部は甲子園に出場しました。その時に「本荘高校に行けば、憧れの甲子園にいける」と思い、本荘高校に入学して硬式野球部で活躍しようと決意しました。

高校野球の思い出がいっぱいあります。が、今はその全てが自分の基礎になつたと思います。特に、素晴らしい同級生達、先輩後輩と出会えたことは幸運でした。居酒屋に集まれば、いつも同じ思い出話のような気がしますが、腹が振れるほどの笑いに包まれます。また開催できる日を楽しみに、前向きに日々を過ごしたいと思います。

## 本荘高校生の力

116期 小松 陽

私が指導者として、また先輩としてバスケット部の後輩達に伝えていました。事は、一日一日の練習を大切にすることと感じました。しかし当分先どころか、2年秋になつても全然試合に出ることができません。一方、同級生や後輩達はどんどん上達してきます。焦つて必死で練習しますが、焦れば焦るほど空回り

しました。  
そして最後の夏、私は背番号をもらわせませんでした。世の中野球で全てが回つていると思っていた当たりでしかりと未来を切り開けるものと確信しております。  
来年創立120周年を迎える母校の益々の発展と、全国各地の同窓生の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。  
まさに「右文尚武」「質実剛健」「玲瓏同氣」を体現しているのだととも心強く感じ、これから陳場岱を巣立つていく後輩達は、自分の足でしっかりと未来を切り開ける時の私は、味わったことのない絶望感を味わいました。  
「もっと練習していたら」とか、「もっと自分にできることを考えていたら」とか、後悔ばかりの高校野球生活でした。未だに体調が悪い時は、ベンチに入れないので夢を見ます。  
そんな辛い思い出が多い高校時代ですが、今となつてはその全てが自分の基礎になつたと思います。特に、財産になつたと想います。特に、素晴らしい同級生達、先輩後輩と出会えたことは幸運でした。居酒屋に集まれば、いつも同じ思い出話のような気がしますが、腹が振れるほどの笑いに包まれます。また開催できる日を楽しみに、前向きに日々を過ごしたいと思います。  
私は本荘高校にはとても素敵なお生徒と先生がたくさんいることを伝えたいです。自分で頑張ることはもちろん大切ですが時には仲間を、先生を頼つてみてください。新たな道が拓けるかもしれません。皆さん自分が望む未来を自分自身の力で拓いていけるよう、心から応援しています。

## 感謝

定時制

高橋 遥南

(旧姓 猪股)

はるな

私が定時制に入学し過ごした3年間は、私にとってとても大切な思い出です。朝5時から9時まで近くのコンビニでアルバイトをしていました。お仕事をする上で、大人の方との関わり方にすごく苦労しました。人間関係が一番大変泣きながら家に帰ることも沢山ありました。それでも、1年生から3年生まで辞めずに続けました。今思えば、働くことの大変さを感じることができたのでとても貴重な経験をさせていただいたと思います。

定時制の先生方は、とても温かく優しく社会でのマナーや勉強をとても分かりやすく親身になつて教えてくれました。辛い時も全てが嫌になり心を閉ざしてしまった時も絶対に見捨てず、ずっと味方でいてくれました。言葉に表せないぐらい本当にとても感謝しています。

「どうせ定時制でしょ」

定時制に向けられる偏見はどうしても悲しいです。

「どうせ定時制でしょ」

定時制に何度も苦しみました。何に対しても偏見は絶対に

会ったと感じました。日本人特有の勤

持つてはいけないと 思います。みんなそれぞれ色々な形で頑張っています。

卒業から4年が経ち、職場の方にも恵まれ毎日充実した日々を過ごしています。高校時代の

持つてはいけないと 思います。みんなそれぞれ色々な形で頑張っています。

アルバイト経験は、今でもとても役立っています。たくさんの方への感謝の気持ちを忘れずに、優しい心を持つてこれからも頑張っていきたいと思います。

## 東京五輪に出場して

小野 祐佳 (104期)



東京五輪出  
場に向けてた  
くさんの応援  
をいただいたこ  
と、ほんとうにありがとうございま  
した。レースが終わった後、これが  
叶つたのは、それまで支えてくださつ  
たたくさんの方々のおかげであるこ  
とを改めて理解し、感謝の気持ちで  
いっぱいになりました。本荘高校同  
窓会をはじめ地元後援会に寄付して  
いただいたみなさまには感謝しても  
しきれません。大会現場では、ボラ  
ンティアの方々の働きはすばらしく、  
どんなに暑くとも、雨が降ろうとも、  
笑顔を絶やさず、競技運営と安全対  
策に尽力してください姿に胸を打た  
れました。選手村は文字通りの「小  
さな世界」であり、共同生活中に大  
きな分野での発展に寄与することが  
できればと思います。

勉強、清潔さ、が今大会で重要な視された、安心・安全な大会運営には必要であつたと思いました。24時間体制で警備・管理していくべきことだと思います。

わたしの東京五輪へのチャレンジは2016年の秋に始まりました。競技を引退して3年半が経つ頃、当時の日本代表コートから届いたメッセージを読んだ時の感覚を今まで覚えています。人生の中で最後までやや切らないと次に進めないことがある、わたしにとっての五輪出場はそういうものでした。競技生活は

120周年はぜひコロナウイルス感染症が収束した明るいムードの中、楽しく開催されることを念じ

いました。卒業から4年が経ち、職場の方にも恵まれ毎日充実した日々を過ごしています。高校時代の

たくさんの方への感謝の気持ちを忘れないで、優しい心を持つてこれからも頑張っていきたいと思います。

## 令和3年度 同窓会会計予算書 (2021.9.1~2022.8.31)

### 収入の部

項目	本年度予算額
会 費	2,800,000
縁 越 金	2,170,475
会報発行還付金	0
寄 付 金	0
雑 収 入	525
合 計	4,971,000

### 支出の部

項目	本年度予算額	項目	本年度予算額	項目	本年度予算額
総 会 費	0	旅 費	750,000	通信事務費	250,000
役員会費	160,000	会報発行費	370,000	事務局費	100,000
新年宴会費	100,000	白玲瓈印刷費	120,000	雑 費	70,000
講演会費	150,000	支部助成費	420,000	予 備 費	403,000
新入会員費	180,000	支部連絡協議会費	0	基 金 捏 出	1,538,000
慶 弔 費	100,000	全国大会激励費	260,000	合 計	4,971,000

## 陳 場 岳

由利本荘市においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響が各方面に及んでいます。毎年活発に行われていた同窓会活動も例にもれず、諸行事がやむを得ず中止または通常とは違う形式での開催になりました。新年祝賀会・講演会は中止、卒業証書授与式や入学式は出席無し、全国すべての地区の同窓会支部総会も中止になりました。

母校の創立120周年を来年に控え、準備の会議や活動が本格化する時期なのですが、実行委員会や理事会もままならず、教職員・PTA・実行委員会の方々には大変なご負担ご苦労をお掛けしておりますが、前向きで強固な協力体制のもとアイディアや工夫を凝らし開催に向けて着々と確実に前進しています。

この夏、同じくコロナ禍の中で東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの制限がある状況下、人々に大きな勇気と感動を残して閉会しました。来るべき120周年はぜひコロナウイルス感染症が収束した明るいムードの中、楽しく開催されることを念じ

五輪後は競技を引退しました。このチャレンジで得た、貴重な経験を生かし、これから秋田県のさまざまな分野での発展に寄与することができればと思います。

同窓会副会長 菊地長司(78期)